

# 標準施工要領書

---

空調用分岐チャンバー

「タートルチャンバー」

作成	2012年1月10日
改訂	2022年8月22日

フジモリ産業株式会社

空調用分岐チャンバー  
タートルチャンバー

全般的な  
注意点

1. タートルチャンバーの保管時は雨水のあたらず屋内に平積みして下さい。その際、外圧等によりチャンバーに損傷を与えぬよう注意して下さい。
2. タートルチャンバーは、床面上を引き摺ったり工事部品にぶついたりして損傷を与えないように配慮して下さい。
3. 取付施工をする前に、目視で製品の形状、断面形状の変形の有無、外装材の損傷の有無、汚染の有無等の確認を行って下さい。

施工上の  
留意点

1. 高温を発生する配管（ボイラー、蒸気配管等）の近くへの取付けは避けて下さい。
2. 有害な変形を与えないように運搬、取扱いに注意して下さい。
3. 外装材の損傷なきよう取扱いに注意して下さい。

取付方法

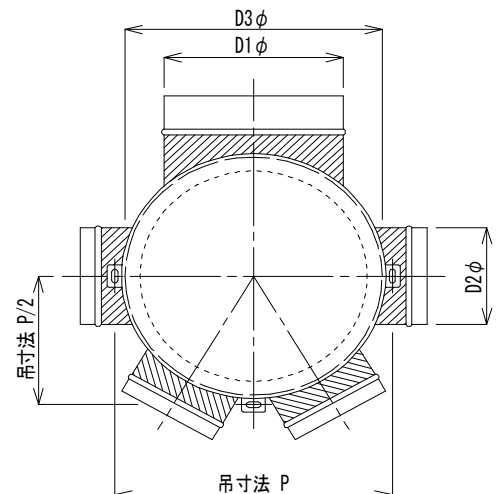
1. インサートの墨出し寸法

■TCK4の場合

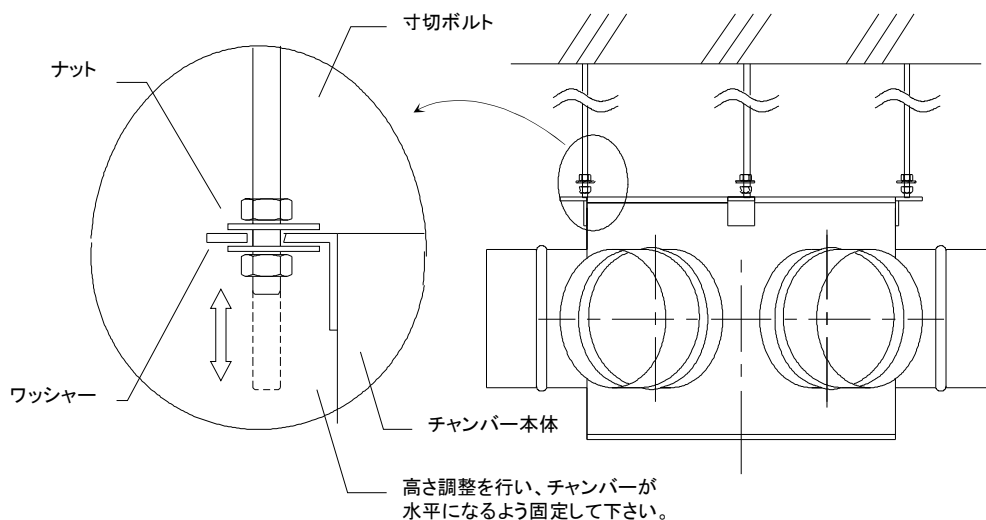
右記寸法は、6、8分岐品も共通です。

《標準寸法》

型番	フレキ接続数	D2φ (mm)	D1φ (mm)	D3φ (mm)	吊寸法P (mm)
TCK4-1525	4	150	250	390	424
TCK4-1730		175	300	430	464
TCK4-2035		200	350	480	514
TCK6-1530	6	150	300	450	484
TCK6-1735		175	350	510	544
TCK6-2040		200	400	570	604
TCK8-1535	8	150	350	550	584
TCK8-1740		175	400	610	644
TCK8-2045		200	450	680	714

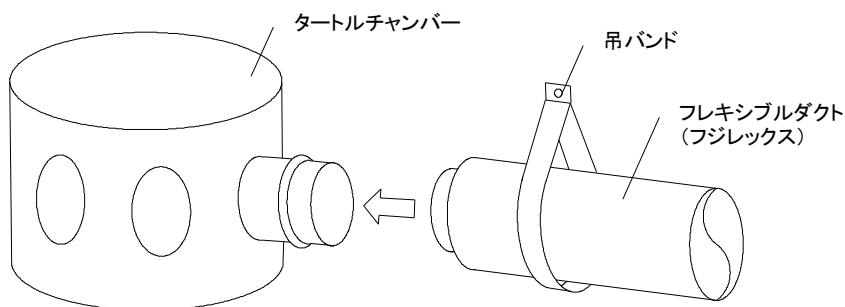


2. チャンバーの吊り込み方法



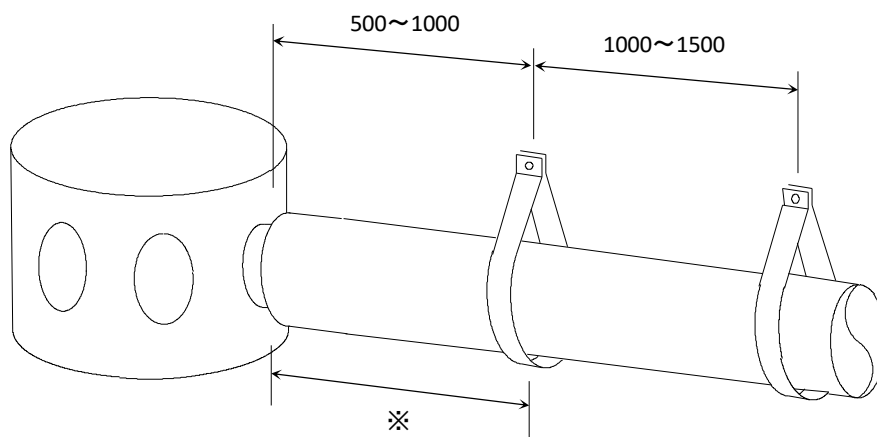
3. フレキシブルダクトとの接続

1) フレキシブルダクトを固定されたチャンバー短管へ差し込みます。

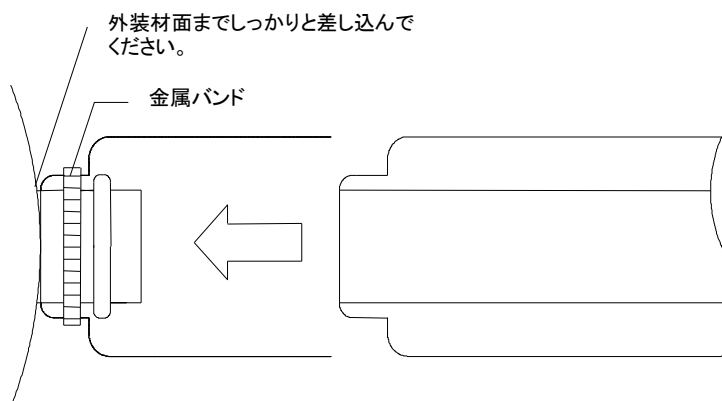


2) フレキシブルダクトを吊バンド等により固定します。

※チャンバーから突出直後のフレキシブルダクト（チャンバーから最初の支持部）には撓みや局所的な曲げ等がないように吊施工を行ってください。



※チャンバーとフレキシブルダクトとの固定方法



- ・ 金属バンド締付け後、真下を外してビス止め3点を施してください。
- ・ 必要に応じて粘着テープ等により金属バンド部分を養生してください。

※インレット側接続も同様になります。（スパイラル接続の場合も同様）